



2016.11
女川町まちづくり推進協議会事務局

まち活通信

vol.25

～みんなで実践するまちづくり活動情報～



先月号では、町のみなさんが取り組む3つのまちづくり活動を紹介しました。今回も、地域で頑張る女性たちや、海に魅せられ、浜の暮らしを選んだ男性のエピソードをお届けします。

自然に囲まれ、元気いっぱい！

出島地区「なでしこの会」のみなさん

出島地区の女性たちは、島を2日と離れては過ごせないほど島が大好きで、大きな家族のように仲がよく、元気がいっぱい。仮設住宅の集会所のお茶っこ会から発展した「なでしこの会」を結成して十数名の女性たちが活躍しています。

◆自然豊かな出島にはアケビや椿など山の恵みもたくさん



町内の漁業集落の中では先行して高台移転が完了し、着実に暮らしの再建が進んでいる出島地区。震災後の全島避難の辛い日々から5年半が経った今、将来の島の在り方やまちづくりへの意識を高く持って、心を一つに活動へ取り組んでいます。

島を訪れる若者やボランティアとの交流をきっかけに、豊かな自然に囲まれた島の価値に改めて気づいたというみなさん。海の恵みはもちろん、アケビ・椿・四季折々に咲く花といった山の恵みや古代の遺跡とされるストーンサークルなど、島の資源の見直しが進んでいます。また、椿油の商品化に取り組む気仙沼大島から講師を招き、勉強会も開いています。

「本土と島に橋が架かることが現実となり、多くの人に島の自然を知り楽しんでほしい。癒されてほしい。そのためにも、今の穏やかな生活を守りつつ、交流を促進するための仕組みづくり、豊かな自然を守るルールづくりが必要。島の人以外にもさまざまな意見を聞いてみたいです」と会の一人は話します。なでしこの会とともに、これからの出島が楽しみです。

◆地図を広げて島の資源を見直し



女川の人と海に魅せられて！

持田耕明さん(潮プランニング)

女川は“夢がかなうまち！”“自己実現できるまち！”
“小さいけれど居心地がよいまち！”

世界中をヨットで航海していた中、港町女川に魅せられ、震災の数年前に女川へ移住した潮プランニングの持田耕明さん。金華山航路や海上タクシーの運航の仕事をしてながら、女川の海の魅力をブログ等で発信しています。

また、「石巻に恋しちゃった♥」の体験プログラムで、金華山パワースポットめぐりをガイドしたり、「そうだ！出島に行こう」と題して、出島にあるプライベートビーチで日帰りキャンプを企画するなど、豊かな島や自然とふれあう活動を実践しています。

復興後の住まいに、浜の暮らしを選んだ持田さん。「女川の海はどんな方でも手軽に釣りが楽しめますよ！」と熱く語ります。詳しくは、「潮's未来が楽しみな町・女川」ブログをチェックしてみましょう！



◆出島キャンプでの一幕①海上タクシーと持田さん②

手工芸活動を通じて地域づくり

大原北区 婦人部のみなさん

震災後、最初に整備された災害公営住宅である運動公園住宅は、町内さまざまな地区から200世帯が入居し、2年半が経ちました。住み慣れない集合住宅での暮らし、一からの地域づくり、独居世帯の高齢者の見守り、新行政区・大原北区の設立などの課題に取り組みながら、住民同士の絆を深めて来ました。今回は、そんな大原北区のコミュニティづくりの一端を担う、婦人部の活動をご紹介します。

婦人部では、年2回、粘土工芸の講習会を開き、粘土で花や表札など、とても素敵な作品づくりをしています。

講師を務める鈴木さんは粘土工芸を30年近く続けており、「震災後、何もなくなってしまって、仮設住宅に入ることに也成了り、あったらいいな！好きだな！という気持ちで続けてきました。周りの方々も眺めていたい物があるとよい、という気持ちは同じだったようです。作りたい！ほしい！という方がいることが取り組みの原動力となっています」と話します。今では、大原北区以外の方々も一緒に活動しているそうです。

この婦人部では、「集」という名前で町民文化祭に出展し、講習で習った粘土工芸や趣味の手芸など、思い思いの作品を持ち寄って展示しています。興味のある方は、11月3日(木)～6日(日)にまちなか交流館で開催される町民文化祭をのぞいてみてくださいね♪
(4面に関連記事)



◆町民文化祭での展示風景(平成26年度)

みんなで使おう、“まちこう”

駅前商業エリアにあるまちなか交流館は、まちづくりワーキンググループなど町民が参加して出し合ったアイデアを元に、整備した施設です。大きなイベントで使われているイメージがありますが、町民みなさんのさまざまな活動の場として気軽に使える施設です。

普段、まちなか交流館を使っている町民の方から聞いた、おすすめポイントを3つご紹介します。

女川町まちなか交流館



◆木のぬくもり広がるロビー

- おすすめポイント① 調理室とロビーを一体的に利用できる**
調理室は、IHクッキングヒーターのオール電化で調理器具もそろっています。何人かで集まってレシピ開発し、ロビーでみんなに振る舞えば、新たな交流も生まれますよ♪
- おすすめポイント② 開放的なホールの活用方法はさまざま**
木調のホールは天井が高く、開放感抜群！スクリーン、音響や上映設備も完備され、映画上映会やダンス・演劇などのパフォーマンスにも活用できます。大人数の会食でも利用可能です。
- おすすめポイント③ ドラムセット完備の本格的な音楽スタジオ**
壁面は防音仕様なので、バンドのセッションや、コーラス、カラオケの特訓までできます。

◆問合せ先 女川町まちなか交流館 ☎24-6677

開館時間：午前9時～午後9時 休館：第2・4火曜日(祝日の場合は翌日)と年末年始

あなたの活動をみなさんに紹介しませんか？

まち活通信やSNSを通じて、町内のまちづくりの活動を発信しています。
下記の問い合わせ先までご連絡をお待ちしています。

◆問合せ先 女川町まちづくり推進協議会事務局(役場復興推進課復興調整係)
☎54-3131内線291 メールアドレス：fukko7@town.onagawa.miyagi.jp

○まち活フェイスブック @onagawatown で検索

○まち活LINE@ LINEアプリの友達追加画面で @onagawatown をID検索

